

**製品名: Rad52 (リン酸化 Tyr104) ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab05332**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	46kDa

## 抗原情報

遺伝子名	RAD52
別名	RAD52; DNA repair protein RAD52 homolog
遺伝子 ID	5893.0
SwissProt ID	P43351
免疫原	抗血清は、ヒト RAD52 の Tyr104 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 70-119

## 背景

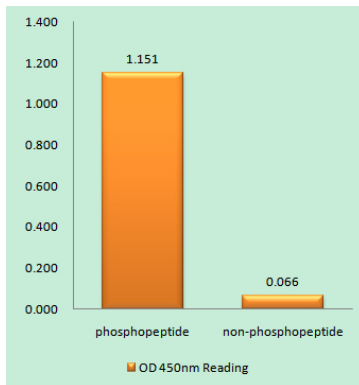
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、DNA 二本鎖切断修復および相同組換えに重要なタンパク質であるサッカロミセス・

セレビシエ (*Saccharomyces cerevisiae*) の Rad52 と同源性を有する。この遺伝子産物は一本鎖 DNA 末端に結合し、相補 DNA 鎖のアニーリングに必要な DNA-DNA 相互作用を媒介することが示された。また、DNA 組換えタンパク質 RAD51 と相互作用することも明らかにされており、RAD51 関連の DNA 組換えおよび修復における役割が示唆されている。この遺伝子の疑似遺伝子は 2 番染色体上に存在する。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが他にも報告されているが、その全長は不明である。[RefSeq 提供、2014 年 7 月]、機能: 二本鎖切断修復に関与。相補的な一本鎖 DNA のアニーリングを促進し、RAD51 リコンビナーゼを刺激することで、遺伝子組換えと DNA 修復において中心的な役割を果たします。、PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。、類似性: RAD52 ファミリーに属します。、サブユニット: 10 量体リングを形成します。、

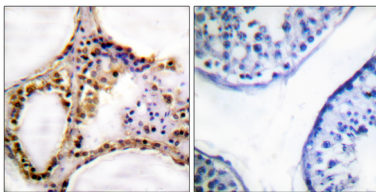
## 研究分野

相同組換え;

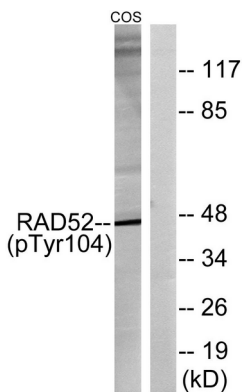
## 画像データ



RAD52 (リン酸化 Tyr104) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



RAD52 (リン酸化 Tyr104) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



RAD52 (リン酸化 Tyr104) 抗体を用いた、H<sub>2</sub>O<sub>2</sub> 100uM 30 分処理した COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。